

梅津中学校ブロックの小中一貫教育

小中一貫教育構想図

令和5年度 小中一貫教育構想図

9年間の小中一貫教育の目標

『自と他を大切にできる豊かな人間性と
自律して社会を生き抜く力の育成』

相手を尊重し、つながりを大切にし、一体感と誇りを感じられる学校を創る

目指す子ども像

互いのよさや可能性を認め合い、思いや考えを伝え合える児童・生徒

自分の課題を見だし、自分を生かせる未来を語れる児童・生徒

具体的な取組の柱

① 小中合同の授業研修会（小1回、中1回）を行い、小中相互の授業への理解と授業改善を図り、学力向上を目指す。

② 中学校区で毎月15日を「いいことばの日」とし、各校生徒会・児童会を中心に「いいことば」を使う取組を推進する。

③ 夏季には小中合同の教員研修会を行い、9年間を見通した児童・生徒理解と指導の方向性の共通理解を図り、実践につなげる。

④ 小中合同研修会の前後には合同主任会（授業研究、生徒指導、児童会・生徒会、総合、人権教育、英語、総合育成支援）をもち、各校の取組や研修会の方向性、共通の取組への共通理解等を図る。

⑤ 各校が取り組む研究授業について参加案内を送付し、日常からつながりを意識できるようにする。

⑥ 必要に応じて（月1回程度）教務主任は会合をもち、取組の確認を行う。

梅津中学校・梅津小学校・梅津北小学校の3校で、育てる児童生徒像を共有し、相互のカリキュラムや生徒指導などの取組の交流と調整を行い、また、授業公開と事後研究会、夏季合同研修会の分科会での課題別協議を実施する。これらの取組を通して相互理解と課題の共有を図り、指導力を向上させ学力向上を目指す。

